

建設の機械化

1992.4

No.506



◆巻頭言 1992年に期待すること	河野博文	1
長大斜面を有するアスファルトコンクリート表面遮水壁 フィルダム舗設工事の概要—東京電力蛇尾川揚水発電所・八汐ダム—	伊藤金通・前原雅幸	3
中部電力奥美濃水力地下発電所の施工	宮口友延・三浦雅彦	10
トンネルボーリングマシンを用いた導水路トンネルの施工 —赤石沢発電所・二軒小屋発電所—	渡辺純・鈴木廣行・内田英雄	18
建築工事における新揚重システムの開発—横浜ランドマークタワー工事—	酒井佳人・腰越勝輝・竹野雅博	25
大型ブルドーザのインパクトリッパによる市街地での岩盤処理 —サンマリーナ長崎宅地造成工事—	多田正儀・江川勇士郎	30
鉛直水平両用シールド機の開発	貝沼憲男・金子研一・伊藤広幸	35
発砲スチロール混合軽量盛土による土圧軽減対策	加藤俊昭・長坂勇二	40
◆ずいそう 我家の窓から	石井清	44
◆ずいそう 駐車場に悩むマイカー族	山地武	46
除雪機機械展示会（会津若松）見聞記	丹野光正	48
グラビヤ—平成3年度 除雪機機械展示会（会津）		
低騒音型建設機械の指定（平成3年度第2回分）	相原正之	51

JCMA

目次



◆新工法紹介 04-83 PRES 工法/04-84 NATM 余掘管理システム/ 04-85 OTP システム/08-22 グラブポンプドレッジャ	調査部会	57
◆新機種紹介	調査部会	61
◆文献調査 建設機械の改造/超高压水でコンクリートを吹飛ばす/ 大型フォークリフト市場の魅力/モジュラーパワーバック式ト レンチャ/自己修復タイヤは車両のダウンタイムを減少させる	文献調査委員会	65
◆整備技術 油圧機器の整備概要	整備部会	68
◆統計	調査部会	72
行事一覧		73
編集後記	(吉澤・永井)	76

◇表紙写真説明◇

岩盤切削専用機
サーフェイスマイナー 3500 SM
〔発売元〕 ヴィルトゲン社日本総代理店
株式会社 テー・アンド・オー

本機は、世界でもっとも経験と信用のあるヴィルトゲン社製岩盤切削専用機である。その特徴は次のとおりである。

① 環境を阻害することなく極めて安全に道路の新設および拡幅工事を可能とする。

② 切削された岩石は付随したコンベヤにより自動的にトラックに積込まれるので一段と生産性が向上する。

③ 切削された岩石は最大粒径 200 mm～最小粒径 0 mm の粒調砕石であるため、直ちに埋戻し材、路盤材等に使用できる。砕石製造の場合は 1 次クラッシャ

は不要となる。

④ コンピュータ制御により自由に切削深さや勾配を選ぶことができる。

⑤ 鉱山用として使用するとき層厚に応じた選択的採鉱が可能である。また、層間に存在するインターバーデンの除去も極めて簡単に行うことができる。

＜主な仕様＞

切削幅	3,500 mm
切削深さ	0～500 mm
エンジン	カミンズ KTA 38/C-1200
出力	1,200 HP
重量	135 t
速度	(走行時：0～3.9 km/hr 作業時：0～25 m/min
切削岩の硬さ (一軸圧縮強度)	経済的な観点では 1,500 kg/cm ² 以下が望ましいが、2,000 kg/cm ² 以上でも切削可能である。